

## 平成 29 年 3 月期 第 3 四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成 29 年 2 月 10 日

上場会社名 日精樹脂工業株式会社 上場取引所 東・名

コード番号 6293 URL <a href="http://www.nisseijushi.co.jp">http://www.nisseijushi.co.jp</a> 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)依田 穂積

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 荻原 英俊 TEL 0268-82-3000

四半期報告書提出予定日 平成 29 年 2 月 14 日

配当支払開始予定日 — 四半期決算補足説明資料作成の有無 :無 四半期決算説明会開催の有無 :無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売 上	高	営業利	益	経常利:	益	親会社株主 する四半期	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	26, 866	△8.0	2, 116	△11.2	1, 614	△26. 4	1, 211	△22. 9
28年3月期第3四半期	29, 205	9.8	2, 382	23. 4	2, 192	△26.3	1, 572	△39. 2

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 799百万円(△39.8%) 28年3月期第3四半期 1,327百万円(△59.8%)

··-· ·		
	1株当たり	潜在株式調整後
	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	60. 66	59. 99
28年3月期第3四半期	78. 77	77. 95

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	54, 500	29, 905	54. 7
28年3月期	49, 310	29, 440	59. 5

(参考) 自己資本 29 年 3 月期第 3 四半期 29.794 百万円 28 年 3 月期 29.341 百万円

## 2. 配当の状況

		年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
28年3月期	_	8. 00	_	10.00	18. 00			
29年3月期		8. 00	_					
29 年 3 月期 (予想)				10.00	18. 00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 :無

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売 上	高	営業	利益	経 常	利益	親会社株	主に帰属す	1株当たり
							る当其	月純利益	当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通 期	35, 000	△8.6	2, 400	△11.4	1, 900	△10.8	1, 250	△49. 4	62. 56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

### ※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無新規 — 社(社名)、 除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 :無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期30	22, 272, 000 株	28年3月期	22, 272, 000 株
29年3月期30	2, 284, 275 株	28年3月期	2, 313, 175 株
29年3月期30	19, 978, 092 株	28年3月期30	19, 958, 825 株

## ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中であります。

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

# ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1)四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1)経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に、緩やかな回復基調が継続いたしました。一方海外では、米国経済は底固さを見せているものの新政権の経済政策の不確実性や、英国のEU離脱問題、中国および新興国経済の下振れリスク等から先行きは不透明な状況が継続しております。

当社グループの属する射出成形機業界におきましては、国内および米国を中心に需要が堅調に推移いたしました。一方で、中国市場では、景気の停滞等から需要は低調に推移しました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、主力では射出成形機売上高が国内およびアメリカ地域を中心に堅調に推移しましたが、売上高合計は268億6千6百万円(前年同四半期比8.0%減)となりました。製品別売上高につきましては、周辺機器売上高が19億2千6百万円(前年同四半期比4.8%増)、金型等の売上高が8億7千7百万円(同1.9%増)となりましたが、射出成形機売上高が203億6千3百万円(同9.8%減)、部品売上高は36億9千8百万円(同5.7%減)となりました。

利益面につきましては、射出成形機の売上が減少したことに伴い、営業利益は21億1千6百万円(前年同四半期 比11.2%減)となりました。また、為替差損5億7千7百万円を計上したこと等により、経常利益は16億1千4百 万円(前年同四半期比26.4%減)となり、これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億1千1百万円 (同22.9%減)となりました。

セグメントの状況は以下のとおりです。

#### 日本

自動車関連等からの需要が堅調に推移しましたが、売上高(外部売上高)は137億8千4百万円(前年同四半期 比2.8%減)、セグメント利益は7億9千3百万円(同58.4%減)となりました。

#### ⑦ アメリカ地域

自動車関連を中心に需要が堅調に推移しましたが、売上高(外部売上高)は68億9千2百万円(前年同四半期比5.0%減)、セグメント利益は6億8千5百万円(同18.0%増)となりました。

#### ③ アジア地域

中国等での需要が低調に推移したこと等から売上高(外部売上高)は61億8千9百万円(前年同四半期比20.3%減)となりましたが、セグメント利益は6億3百万円(前年同四半期実績はセグメント利益1億2千万円)と増加いたしました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ51億9千万円増加し、545億円となりました。主たる増加要因は、現金及び預金の増加15億9千3百万円および未収入金の増加29億6千万円であり、主たる減少要因は、仕掛品の減少1億7百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ47億2千4百万円増加し、245億9千4百万円となりました。主たる増加要因は支払手形及び買掛金の増加54億1千9百万円であり、主たる減少要因は長期借入金の減少7億4千5百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億6千5百万円増加し、299億5百万円となりました。主たる増加要因は利益剰余金の増加8億5千2百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績につきましては、本資料の開示時点において、平成28年8月5日に公表された各予想値を修正しておりません。

今後、受注状況や環境要因の変化等を勘案し、業績予想の修正が必要と判断される場合には、可及的速やかに開示することといたします。

- 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項
  - (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動特定子会社につきましては、当該事項はありません。
  - (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 該当事項はありません。
  - (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 (会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

### (追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1 四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

	前連結会計年度	当第3四半期連結会計期間
	(平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,727	10, 321
受取手形及び売掛金	10,010	10, 754
有価証券	1, 190	_
商品及び製品	8, 085	8, 256
仕掛品	2, 633	2, 526
原材料及び貯蔵品	4, 149	4, 283
未収入金	2, 223	5, 183
その他	1,016	1, 114
貸倒引当金	△462	△401
流動資産合計	37, 572	42, 039
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3, 022	2, 882
機械装置及び運搬具(純額)	1, 157	1,023
土地	4, 464	4, 607
その他	343	737
有形固定資産合計	8,988	9, 251
無形固定資産	353	333
投資その他の資産		
投資有価証券	1, 241	1, 422
その他	1, 167	1, 463
貸倒引当金	△13	△10
投資その他の資産合計	2, 395	2, 875
固定資産合計	11,737	12, 460
資産合計	49, 310	54, 500
	·	·

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10, 567	15, 986
1年内返済予定の長期借入金	1,063	1, 040
未払法人税等	314	121
引当金	307	189
その他	1,606	2, 008
流動負債合計	13, 858	19, 345
固定負債		
長期借入金	2, 441	1, 695
退職給付に係る負債	3, 262	3, 249
その他	307	303
固定負債合計	6,011	5, 249
負債合計	19,870	24, 594
純資産の部		
株主資本		
資本金	5, 362	5, 362
資本剰余金	5, 478	5, 477
利益剰余金	19, 201	20, 053
自己株式	$\triangle 1, 109$	△1,096
株主資本合計	28, 932	29, 797
その他の包括利益累計額	•	
その他有価証券評価差額金	288	379
為替換算調整勘定	248	△354
退職給付に係る調整累計額	△127	△27
その他の包括利益累計額合計	409	$\triangle 2$
新株予約権	98	111
純資産合計	29, 440	29, 905
負債純資産合計	49, 310	54, 500

# (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
売上高	29, 205	26, 866
売上原価	20, 295	18, 911
売上総利益	8,910	7, 955
販売費及び一般管理費	6, 528	5, 838
営業利益	2, 382	2, 116
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	18	19
その他	146	180
営業外収益合計	170	205
営業外費用		
支払利息	8	12
為替差損	333	577
その他	18	118
営業外費用合計	360	708
経常利益	2, 192	1,614
税金等調整前四半期純利益	2, 192	1,614
法人税等	619	402
四半期純利益	1,572	1, 211
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,572	1, 211

(四半期連結包括利益計算書) (第3四半期連結累計期間)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	1,572	1, 211
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	91
為替換算調整勘定	$\triangle 271$	△603
退職給付に係る調整額	34	99
その他の包括利益合計	△244	△412
四半期包括利益	1, 327	799
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,327	799

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

		<b>∆</b> ∌I.		
	日本	アメリカ地域	アジア地域	合計
売上高				
外部顧客への売上高	14, 183	7, 255	7, 767	29, 205
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12, 070	8	4, 549	16, 628
計	26, 253	7, 264	12, 316	45, 833
セグメント利益	1,908	580	120	2,609

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2, 609
セグメント間取引消去	△227
四半期連結損益計算書の営業利益	2, 382

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

- Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			∆∌L
	日本	アメリカ地域	アジア地域	アジア地域
売上高				
外部顧客への売上高	13, 784	6, 892	6, 189	26, 866
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9, 781	37	4, 775	14, 594
<b>∄</b> -	23, 566	6, 929	10, 964	41, 461
セグメント利益	793	685	603	2, 082

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2, 082
セグメント間取引消去	34
四半期連結損益計算書の営業利益	2, 116

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。